

No.2018-19

# 6月貿易統計 上期輸出40兆円超え

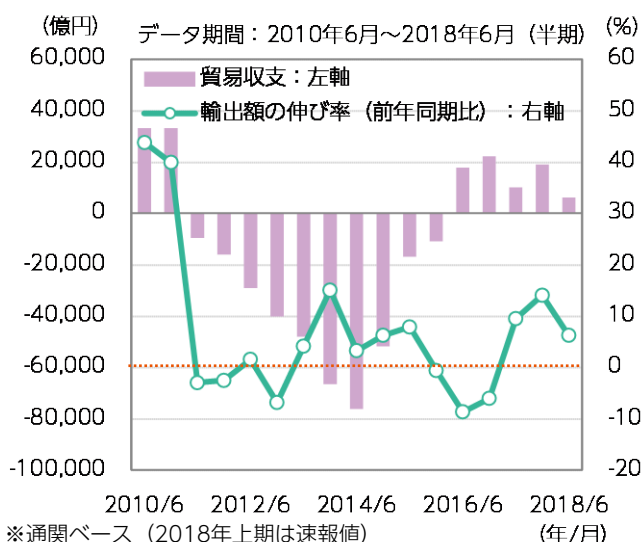
## 2008年以来、10年ぶり

- 財務省が発表した2018年上期（1～6月）の貿易統計速報によると、貿易収支は6,067億円の黒字となった。
- 半導体製造製品等を中心に輸出額は伸びるも、資源価格高騰により黒字額は前年同期比では約40%減少。
- 中国を含むアジア諸国・地域向けの輸出が堅調。輸出全体をけん引。

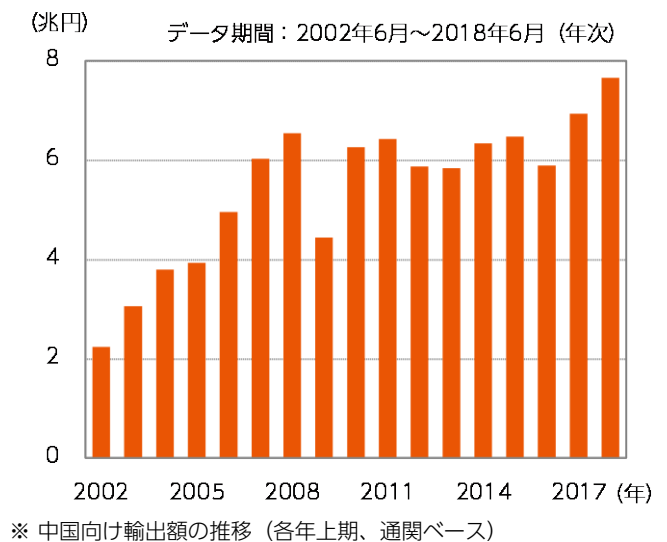
財務省が7月19日に発表した2018年上期（1～6月）の貿易統計速報（通関ベース）によると、輸出から輸入を差し引いた貿易収支は6,067億円の黒字となりました（図表1）。自動車や半導体製造装置、産業用機械などの輸出額は伸びたものの、原油価格をはじめとする資源価格の高騰による輸入額の増加により、黒字額は前年同期比ではおよそ40%の減少となりました。輸出額は中国向けの半導体関連製品がけん引したことから40兆1,305億円となり（図表2）、上期としては2008年以来、約10年ぶりに40兆円を超え、2年連続で前年同期を上回りました。以下、要約です。

- ✓ 輸出の伸びが目立ったのはアジア諸国・地域。前年同期比6.6%増加の21兆8,499億円と上期としては過去最高となる。半導体や自動車の輸出が堅調であったことが要因とみられる。
- ✓ 中国向け輸出は、金属加工機械や電子部品の伸びがけん引。前年同期比10.4%増とアジア諸国・地域同様、上期としては過去最高となった。
- ✓ 米国向けは、鉄鋼が同17.2%減少となったものの、建設や鉱山用機械、自動車が堅調であり、前年同期比2.4%の増加。欧州向けは、自動車がけん引し同8.9%増の4兆6,118億円。
- ✓ 上期の輸入額は39兆5,238億円となり、前年同期比で7.5%増加。3半期連続の増加となり、過去5番目の高水準。原油等をはじめとする資源高に伴い、原油や石油製品などの輸入額がかさんだ。
- ✓ 6月単月の輸出額は7兆524億円と前年同月比6.7%増加。前年を上回るのは19ヵ月連続。
- ✓ 6月単月の貿易収支は、アジア向けの半導体関連輸出が伸びたことから2ヵ月ぶりの黒字となった。

図表1：貿易収支は5半期連続の黒字



図表2：半導体関連の中国向けの輸出がけん引



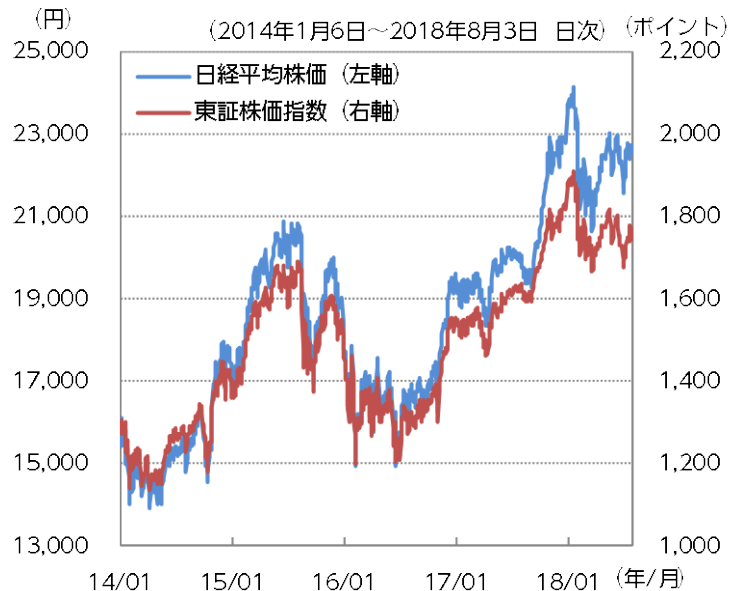
出所）図表1、2は財務省のデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(2018年7月30日～8月3日)

## (1) 日本の株式・債券市場

### 株式市場の動き

- 先週の日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で下落となりました。31日（火）に日銀の金融政策決定会合の結果発表を控え様子見ムードが強く、週初は下落となりました。結果が日銀が金融緩和が継続すると受け止められ、円安米ドル高が進行すると輸出関連株などを中心に買われたものの、米中貿易摩擦が景気減速につながる懸念が改めて意識され週末は売りが優勢となりました。（週末引け値：22,525.18円）

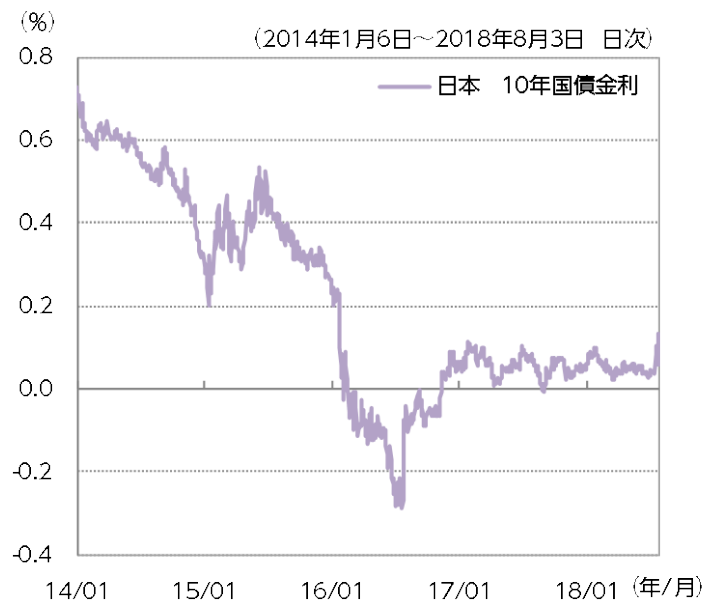


- 週間では、日経平均株価は0.83%の下落、東証株価指数は1.87%の下落でした。

出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

### 債券市場の動き

- 先週の日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇となりました。日銀が金融政策決定会合において、長期金利の変動幅の拡大容認を決めたことで、売りが優勢となりました（利回りは上昇）。（週末引け値：0.110%）
- 週間では、0.006%の上昇となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

## (2) 米国の株式市場

### 市場の動き

- 先週の米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で小幅に上昇となりました。米中貿易摩擦懸念の再燃と堅調な企業業績を背景に、週を通じて一進一退の展開となりました。（週末引け値：25,462.58ドル）
- 週間ではNYダウは0.05%の上昇となりました。

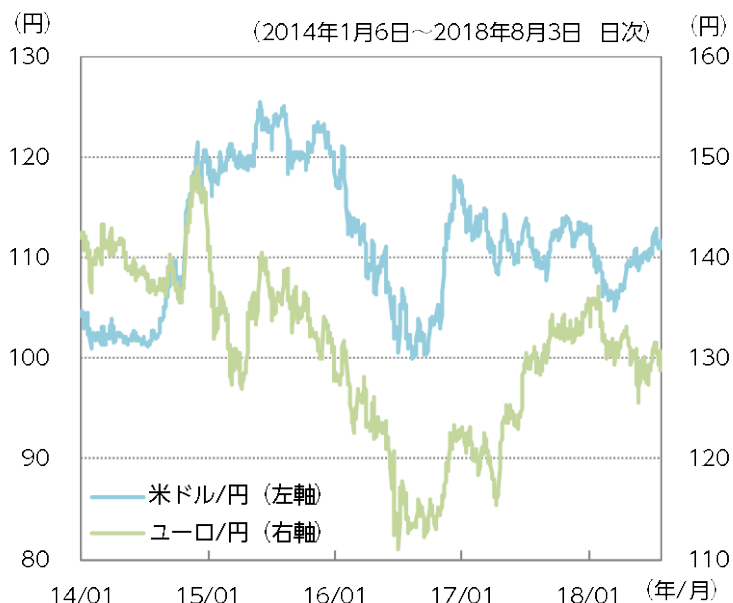


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

## (3) 外国為替市場

### 市場の動き

- 先週の米ドル/円相場は、前週末比で小幅に円安米ドル高となりました。日銀が金融政策決定会合において、フォワードガイダンスの導入や長期金利の誘導目標をゼロ%程度に据え置いたことなどを受け、金融緩和の継続を意識した円売り米ドル買いが優勢となりました。（週末引け値：111円25銭～35銭）
- 週間では米ドル/円は0.18%の円安、ユーロ/円は0.58%の円高となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

### <設定・運用>



**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>